

会 議 記 録			
会議の名称	議会運営委員会		会議場所 全員協議会室
			担当職員 加藤 太郎
日 時	令和4年9月27日（火曜日）		開 議 午後2時04分
			閉 議 午後2時36分
出席委員	◎木曾 ○西口 三上 平本 松山 藤本 菱田 <福井議長、山本副議長>		
執行機関 出席者	桂川市長、浦政策企画部長、石田総務部長		
事務局 出席者	井上事務局長、数井次長、野澤副課長兼総務係長、加藤副課長兼議事調査係長、 佐藤主任、小野主任		
傍 聴	可	市民1名	報道関係者0名
		議員1名（富谷）	

会 議 の 概 要

14:04

[木曾委員長 開議]
[事務局長 日程説明]

1 追加議案について

[市長等 入室]
[市長 あいさつ及び説明]
[総務部長 説明]

<桂川市長>

サッカー女子ワールドカップを日本に誘致できれば候補地にしたいとのことで、2年前に国際サッカー連盟（FIFA）の審査員と日本サッカー協会（JFA）の田嶋会長が、サンガスタジアムを視察された。大会を開催するには本会場のほかにサブ会場として練習場が必要となるため、亀岡運動公園競技場も視察いただいたが、そのときの要望として、照明設備が必要であること、トイレや更衣室の改修といったことなどを指摘いただいた。また、照明設備の設置については、亀岡市ラグビー協会等からも夜間の練習のためにぜひとの意見をいただいております、これらについて予算計上し具体的に整備を進めているところである。今回、照明塔設置工事の契約を締結させていただくので、よろしく願いしたい。

<木曾委員長>

本日は聞きおく程度とする。
ここで私からの提案であるが、ただいま安倍元総理の国葬が行われている。皆さんの同意がいただけるのであれば、黙とうしたいと思うがどうか。

<三上委員>

弔意は十分にさせてもらった。国葬そのものに対する取扱いについては、個々自由にすればよいと思う。

<木曾委員長>

そのような意見もあるが、皆さんの同意をいただけるのであれば、黙とうをさせていただきます。せっかく市長もお見えであるので一緒にさせていただき、同意いた

だけない方は結構であるが、しばらくの間起立いただき黙とうさせていただきたいと思う。ご起立願う。

[同意された委員等のみ 黙とう]

[市長等 退室]

14:11

2 人事議案について

3 人権擁護委員候補者の推薦について

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

人事議案及び人権擁護委員候補者の推薦については、幹事会で説明のあったとおりである。

4 9月議会最終日（9月28日）の日程等について

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

9月議会最終日の9月28日の日程等については、このとおり進めることでよいか。
—全員了—

5 議員の派遣について

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

議員の派遣については、説明のとおり会議規則に基づき議決いただき、派遣することとしたいがよいか。
—全員了—

6 12月議会日程案について

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

第17期議員最終の議会となる。各特別委員会の委員長報告についても確認いただくこととなる。12月議会の日程は、このとおり進めることでよいか。
—全員了—

7 その他

(1) 議会基本条例の検証及び見直しについて

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

議会基本条例の検証及び見直しについては、4項目が検討継続となっており、10月13日の議会運営委員会で検討し決定していきたいと思う。

(2) 亀岡市議会個人情報保護条例（案）について

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

前回示された条例案をもとに市の法務部門である総務課と十分に協議し、整理・修正された内容について説明いただいた。この内容で進めてよいとなれば、今後検察庁と協議して、12月議会で提案していくこととしたいが、そのようなことで進めてよいか。

—全員了—

(3) 議会運営委員会等の日程

(4) その他の委員会等の日程(9月議会後)

[事務局長 説明]

<木曾委員長>

このような日程で進めることでよいか。

—全員了—

<木曾委員長>

12月の各特別委員会では4年の結びに当たり委員長報告をまとめることになるが、京都スタジアム検討特別委員会については、事前に委員会を開催し最終的な取りまとめに向けて課題を整理していきたいと思う。ほかに質問はないか。

<三上委員>

こだわって申し訳ないが質問と意見を言いたい。先ほどの黙とうについては、議会運営委員会の事前調整で確認したことなのか。

<木曾委員長>

事前調整では確認していない。本来であれば幹事会で議長から提案していただければよかったかと思うが、理事者と一緒に黙とうをするのが一番よいと判断して、副委員長に相談し同意をいただいたので、突然であったが提案させていただいた。

<三上委員>

突然で気を利かしたことが言えなかったが、東日本大震災などでも本会議や委員会の途中で黙とうしており、それはやって当然であると思っているが、それでも事前に議会運営委員会で確認している。特に市長も本会議で弔意を強制しないと声明されていたので、事前に会派に調整していただければ、それなりの対応として、もちろんすべきでないとし上げることになったと思う。とっさにそのようなことが言えればよかったが、せめて議会運営委員会を暫時休憩として、理事者もおられる中で黙とうされればよかったのではないか。

<木曾委員長>

議会運営委員会の委員長として、配慮が足りなかった点があると思うが、国葬が始まっているこの時間帯に議会運営委員会が行われているということで、そのような中で会議を進行することにいろいろと思いがあつた。三上委員が弔意を表しているとおっしゃられていることもよく承知している。決して強要するものではなかったが、暫時休憩とし配慮した中で黙とうすることも一つの案であつたと思っており、その点についてはお詫び申し上げたい。国論を二分している状況であるが、長年にわたって御苦労いただいた方に対して、弔意を表す意味で黙とうさせていただいた。私としては非常に素朴な部分の中で示したものであり、そのことに対して協力いただいたということを御理解いただきたい。

散会 14:36